

大森 長 朗： 岡山大学牛窓臨海実験所  
Laboratory of Okayama University

岡山県玉野市渋川にあった岡山大学理学部附属玉野臨海実験所が、昨年5月23日で閉鎖となりました。玉野臨海実験所は、昭和38年に第11回の日本藻類学会の総会が行なわれた場所であり、皆様におなじみの実験所でした。その用地が狭いため、将来の発展を考えてやむを得ず、岡山市の東南30kmの位置にある牛窓町鹿忍に新築移転し、5月24日から牛窓での業務が開始されました。

牛窓臨海実験所は、岡山県水産試験場のすぐ隣りにあり、ここから数km離れたところには県栽培漁業センターもあります。近くにはオリーブ園、ミカン園があり、遠くには小豆島を望む好い環境です。

敷地は7002 m<sup>2</sup>、建物は2階建てで、1階は722.18 m<sup>2</sup>で事務室、研究室、実験室、学生実習室、図書室、食堂、浴室などがあります。2階は223.36 m<sup>2</sup>で宿舎となっていて、6畳和室3、洋室5の宿泊室があります。以上は1第期工事としての設備であり、ひきつづいて第2期工事により、さらに広く充実した実験所になる予定です。

実験所前面の海岸には、アカモク、ヨレモクなどのホンダワラ類が少し生育している程度なので、採集は船で近くの島々に行かなければなりません。実験所にはマリナス(8.26 t, 定員28名)と、はやて(1.3 t, 定員6名)の2隻の船があります。

私が昨年7月に3日間の短期間ですが調査したところでは、実験所に最も近い黒島が海藻採集の好適地のようです。ここでは、アナアオサ、ミル、アミジグサ、ヘラヤハズ、イロロ、イシゲ、アラメ、ヤツマタモク、ヨレモク、ウミトラノオ、マクサ、ムカデノリ、ホソバミリン、イバラノリ、インダンツウ、オゴノリ、シラモ、カバノリ、オキツノリ、マサゴシバリ、アミクサ、エゴノリ、トゲイギス、カギウスバノリ、ホソヤナギノリ、ミツデソフ、クロソフなどを採集することができました。このほか非常に僅かですが、ハネモ、クロミル、イトアミジ、ヒジキ、コスジフシツナギ、ケイギス、エナシダアも生育していました。この中でも、ヒジキは岡山県沿岸ではめったにその生育を見る

Takeo OHMORI: Ushimado Marine

ことができないものです。まだ調査が不十分なので、今後もっと詳しく調べると、他にも好い採集地が見つかるかも知れません。

実験所への順路は、岡山市の中心部にある天満屋バスステーションから、<sup>かんざき</sup>神崎廻り(南廻りともいう)牛窓行両備バスに乗り、水産試験場入口下車(所要時間・約1時間)、バス停から南(バス進行方向の右方)へ徒歩10分余りで実験所に着きます。岡山駅から天満屋バスステーションへは、バスで約10分、タクシーで基本料金程度です。

大学の実習期間などの混雑期を除いては利用が可能です。利用希望の方は、利用目的、人数、期間を明示して、〒701-43、岡山県邑久郡牛窓町鹿忍130-17、岡山大学理学部附属牛窓臨海実験所、吉田正夫所長宛(電話：牛窓(086934)5210)に申し込んで下さい。



図-1 牛窓臨海実験所の正面玄関

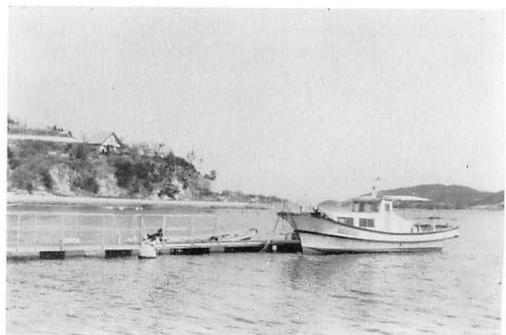


図-2 採集船マリナス